



# きらり大旅行 in 京都東映太秦映画村



2022年10月

秋は絶好のお出かけ日和なので、毎年きらり大旅行を決行しています。今回もみんなが楽しめる場所として行き先は何処がいいのか…悩んだ結果、たくさんのアトラクションやショーが楽しめる「京都東映太秦映画村」に決めました。

行き先が決まったらいよいよ子どもたちにも、今回の行き先と過ごし方を伝えていくのですが、この時にどんなリアクションをされるのか、スタッフにとっても一番ドキドキする瞬間です(汗)



朝の会でスタッフから「次の大旅行は東映太秦映画村に行きま〜す!」と発表すると、「え〜僕映画は見たくないよ〜」「違っよ〜私行っただことあるけど、忍者とかおるねん」「それじゃあ刀とか手裏剣とか見れるんかな…?」「するどい!」など、反応は様々でしたが、その後映画村のパンフレットを見ながら大盛り上がりで、中には段ボールで手作りの刀を準備し、動画でチャンバラショーを見ながら忍者の真似っこをして遊んでいる児童もいました。

感じられながら、いざ当日を迎えました。みんな普段以上に気合の入った服装で、出発前から友達同士で「今日はお弁当作ってもらった!」「一緒にショー見よう!」と、わいわいと盛り上がっています。



現地では予想以上に一般客の方も多く、その分アトラクションの待ち時間も長くなってしまつたことにより、子どもたちの気持ちに動揺が生じないかとてもハラハラしましたが、子どもたちはお友達同士でお喋りを楽しんだり、スタッフやお友達とその周辺を散策するなど、その待ち時間も楽しむ時間に変えて過ごす力もっていました。

またアトラクション内では、ルールを守ろうと係員の説明にしっかり耳を傾けて聞いている様子や、部屋の中が真っ暗になっているアトラクションもありましたが、「こっちが出口や〜!」「ここは手をつないで進もう!」と、みんなで力を合わせて脱出

よつとする様子を見ることができ、とても頼もしく思つと同時に、改めて「人と人同士の繋がり」の大切さを感じることもできました。チャンバラショーでは俳優さんの演技に拍手喝采その動きがとても迫力があり面白く、「あんな動きでうしたらできるんだろう…」と言って、何度も歓声をあげていました。



依然コロナ禍の影響も受けながらも、その都度感染症対策を講じながら、結果として今年も様々な場所へ行き、子どもたち同士でたくさんの思い出を作ることができたと感じています。

これからも児童の「主体性」を軸に、子どもたちが自ら過ごし方を考え、行動し、楽しむことができよう活動内容を考えていきたいと思っています。

